

1030 | グラフィックデザイン基礎 II

4 単位（通信授業 2 単位、面接授業 2 単位）

白尾隆太郎教授、石垣貴子講師、木多美紀子講師、福井政弘講師、山口弘毅講師、西川陽子講師、深澤涼子講師

授業の概要と目標

文章の持つ機能と視覚的情報の持つ機能を理解する。さらにタイポグラフィにおける文字の視覚的側面を考察することにより、言葉と視覚表現の関係を考える。

また写真などの視覚的要素を言葉を使わないメッセージとして捉え、ビジュアルな表現だけを使って、他者にメッセージを伝えることを学ぶ。それらは、言語の領域を越え国際的なコミュニケーションへのステップとしてあらゆる人々に共通の理解を求めるグラフィックデザインの基礎と言える。

課題の概要

○通信授業課題 1「ビジュアル・カルタ」

50音で始まるキーワードを44個考え、45×60mmの写真でそれぞれのキーワードを撮影する。44枚の写真を台紙に貼り提出する。また、一つのキーワードを5枚の写真で表わし、構成する。

○通信授業課題 2「ビジュアル・オピニオン」

今までに学んだ図像・地図・イラストレーション・写真・コンピュータ表現などの技法を総合し、日常生活や社会問題に対する意見を言葉を使わずに的確に他者に伝える。

○面接授業課題

・「文字組」

あたえられた文章にタイトルを付け、コンピュータを使って組版、文字組として完成させる。

①P オンラインプラス [準備] ー面接授業事前説明動画配信

Web キャンパス学生メニューの【動画視聴】にて面接授業の事前説明動画を配信する。

・「ダイアグラム」

目には見えない人の歴史や生様を資料をもとにデザインする。

①P オンラインプラス [準備] ー面接授業事前説明動画配信

Web キャンパス学生メニューの【動画視聴】にて面接授業の事前説明動画を配信する。

*課題については学習指導書『グラフィックデザイン基礎 I・II 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

教科書及び学習指導書による。

[通信授業]

50音で始まる44個のキーワードを44枚の写真構成として制作。また、一つのキーワードを5枚の写真で構成する。

[面接授業]

文字組・ダイアグラムの制作。

[通信授業]

今までに学んだグラフィック表現を活用した「ビジュアル・オピニオン」の制作。

成績評価の方法

[通信授業] 通信授業では、提出作品の総合評価とする。

[面接授業] 面接授業では、制作プロセス、全体講評と作品の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎Ⅰ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース指定科目。

コミュニケーションデザインコース進学希望者は2年次に履修すること。コミュニケーションデザインコース3年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。

「グラフィックデザイン基礎Ⅰ」を同時に履修する場合は、「グラフィックデザイン基礎Ⅰ」のスクーリングを先に受講すること。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある（コミュニケーションデザインコース進学希望者を除く）。

オンラインプラス（Webで行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。

教材等

教科書：白尾隆太郎監修『graphic elements グラフィックデザインの基礎課題』
（武蔵野美術大学出版局 2015年）

学習指導書：『グラフィックデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ 平成29年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）